

大湫町はその在近の中山道界隈を舞台にして、
「人」「自然」「歴史」「まち」に親しみを持ち
住民同士の繋がりや文化を大事にしながら
心豊かに生活できる地域を目指しています。

大湫町 世帯数 （自治会加入世帯）

合計 123世帯（2019年4月1日現在）

男	女	総数	世帯数
164人	178人	342人	123

大淑町コミュニティ推進協議会について

大淑町

大淑町に居住する人々が手と手をつなぎ、住民相互の信頼と連帯感意識を高めることによって、「明るく住みよい地域社会」づくりをめざすため、コミュニティ活動の推進をはかることを目的とする。



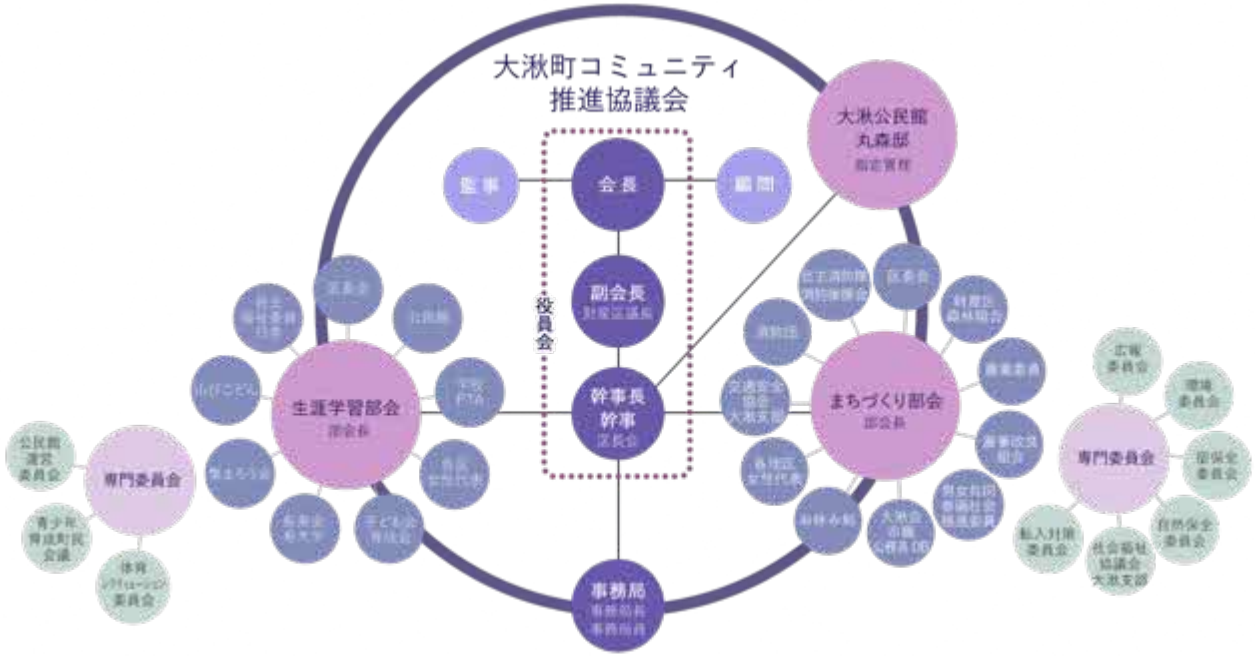


コミュニティ活動の
推進





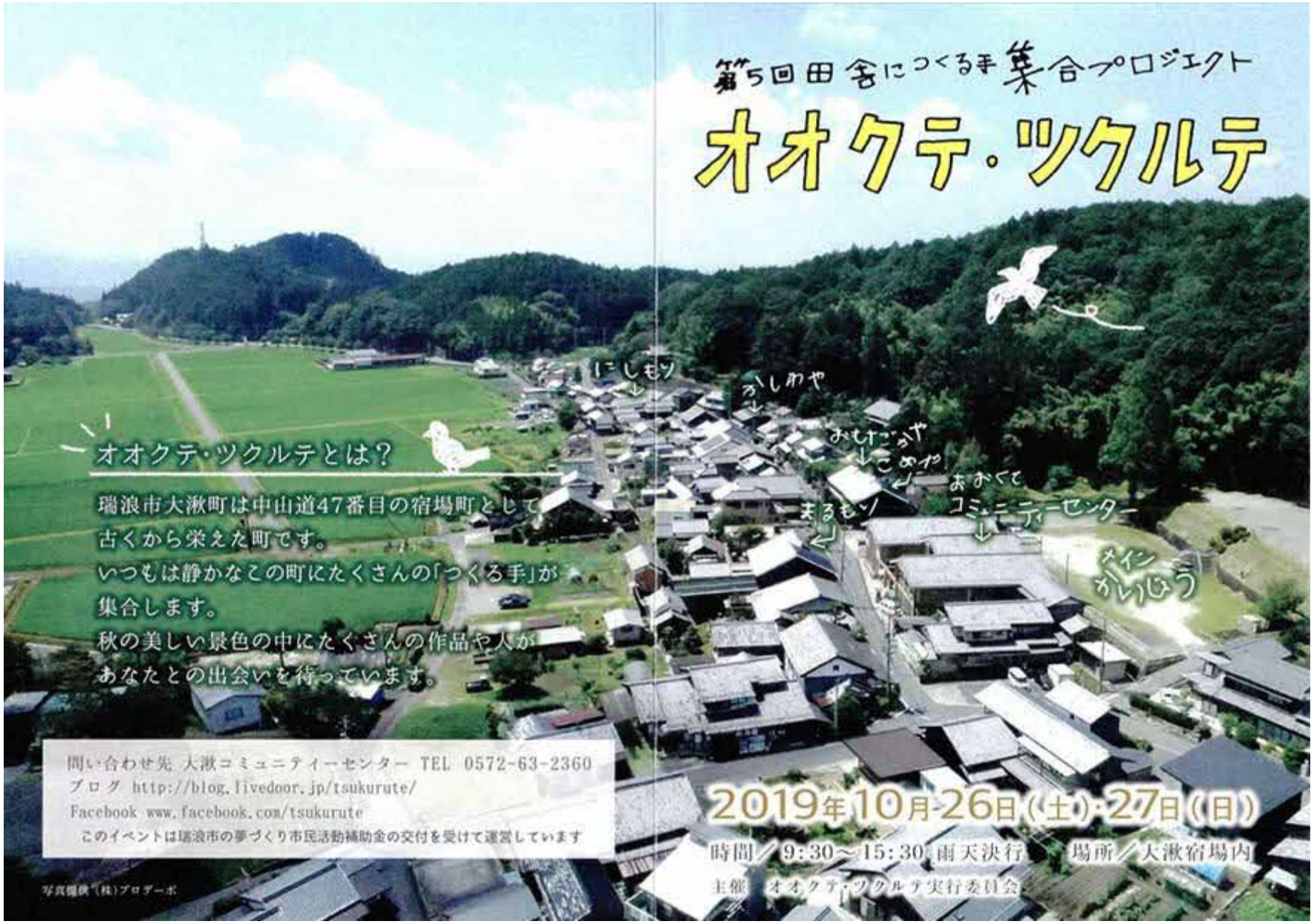
大淵町コミュニティ推進協議会について



■生涯学習部会
① 地域の異世代間交流の場としての夏祭り
　文化祭など文化活動の推進
② 教え合い・学び合いの場づくり（市民の農園）
③ 地域貢献（釜戸中学校）推進活動の連携・協働
④ 歴史と自然資源の研究・保全と学習活動、
　情報発信活動の推進
⑤ 寿大学、スポーツ・レク活動の推進
⑥ 伝承技術・伝統芸能の伝承活動と公民館活動
⑦ おしゃべりサロン「こぶし」や、
　リ・アップ「ひよも」等による憩いの場づくり

■まちづくり部会
① 花の森再整備
② 公民館・丸森邸指定管理
③ 登録有形文化財を活かした宿保全活動の推進
④ 農地・山林・水・環境等保全と草刈ボランティア隊の活動
⑤ 里山づくりと自然保全活動の推進
⑥ 消防後援隊・消防団を中心にした自主防災組織の充実
⑦ 青パト活動など子どもの見守りと不法投棄監視活動の充実
⑧ 地域福祉・防災体制づくりの推進
⑨ 広報「大淵」・ＨＰを中心に内外への広報活動の充実
⑩ 集落・道路の整備活動
　河川・ 地域のふれあい広場等の美化活動推進
⑪ 空き家・空き地対策の推進
⑫ 田舎に「つくる手」集合『オオクテ・ツクルテ』イベント

大滝町の新たな動き


第5回田舎につくる手集合プロジェクト
オオクテ・ツクルテ
にしもソ
かしわや
おもてごみや
こめや
おおくて
コミュニティーセンター
まるもソ
メイン
かいじょう
オオクテ・ツクルテとは？
瑞浪市大滝町は中山道47番目の宿場町として
古くから栄えた町です。
いつもは静かなこの町にたくさんの「つくる手」が
集合します。
秋の美しい景色の中にたくさんの作品や人が
あなたとの出会いを待っています。
問い合わせ先 大滝コミュニティーセンター TEL 0572-63-2360
ブログ http://blog.livedoor.jp/tsukurute/
Facebook www.facebook.com/tsukurute
このイベントは瑞浪市の夢づくり市民活動補助金の交付を受けて運営しています
2019年10月26日(土)・27日(日)
時間／9:30～15:30 雨天決行 場所／大滝宿場内
主催 オオクテ・ツクルテ実行委員会
写真提供 (株)プロデーボ


森

大淑町の新たな動き

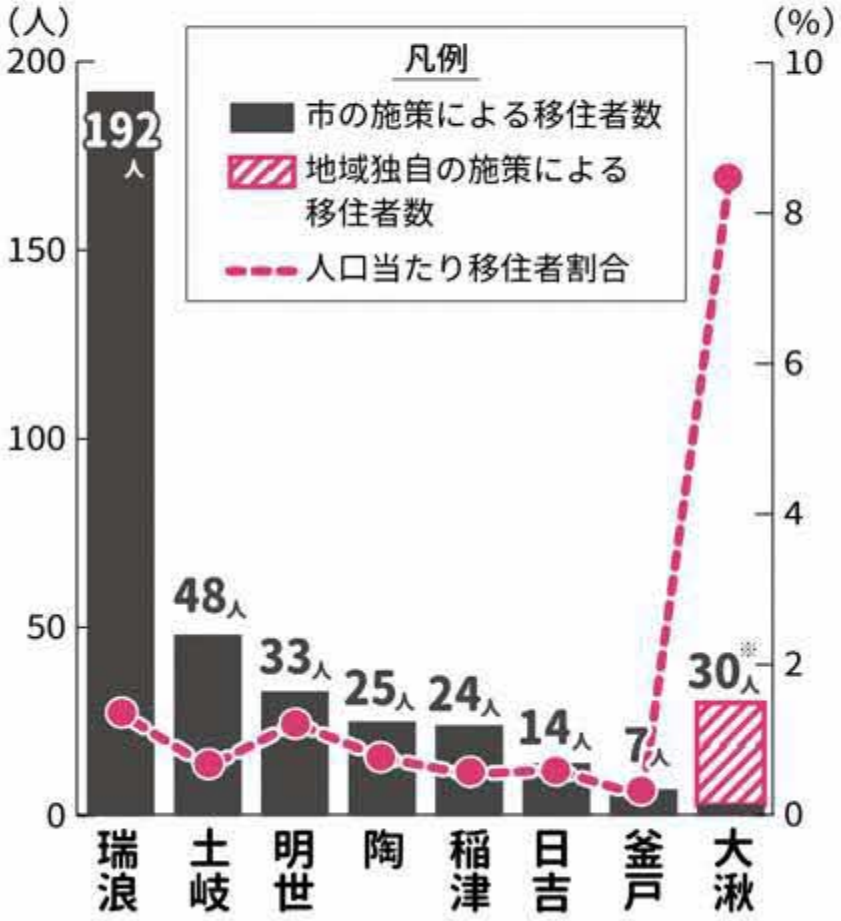






市内地域別の移住者数

平成 26 年～ 29 年度の累計数



※市と地域独自の施策の合算人数

（瑞浪市ウェブサイト　市民協働課ページ　2019年5月24日データより）

大湫町の課題

大湫町

人口減少・少子高齢化
町の存続の危機

居住人口減により
町運営が
困難になる可能性

町の未来を
担う若手の不足
運営メンバーの
高齢化

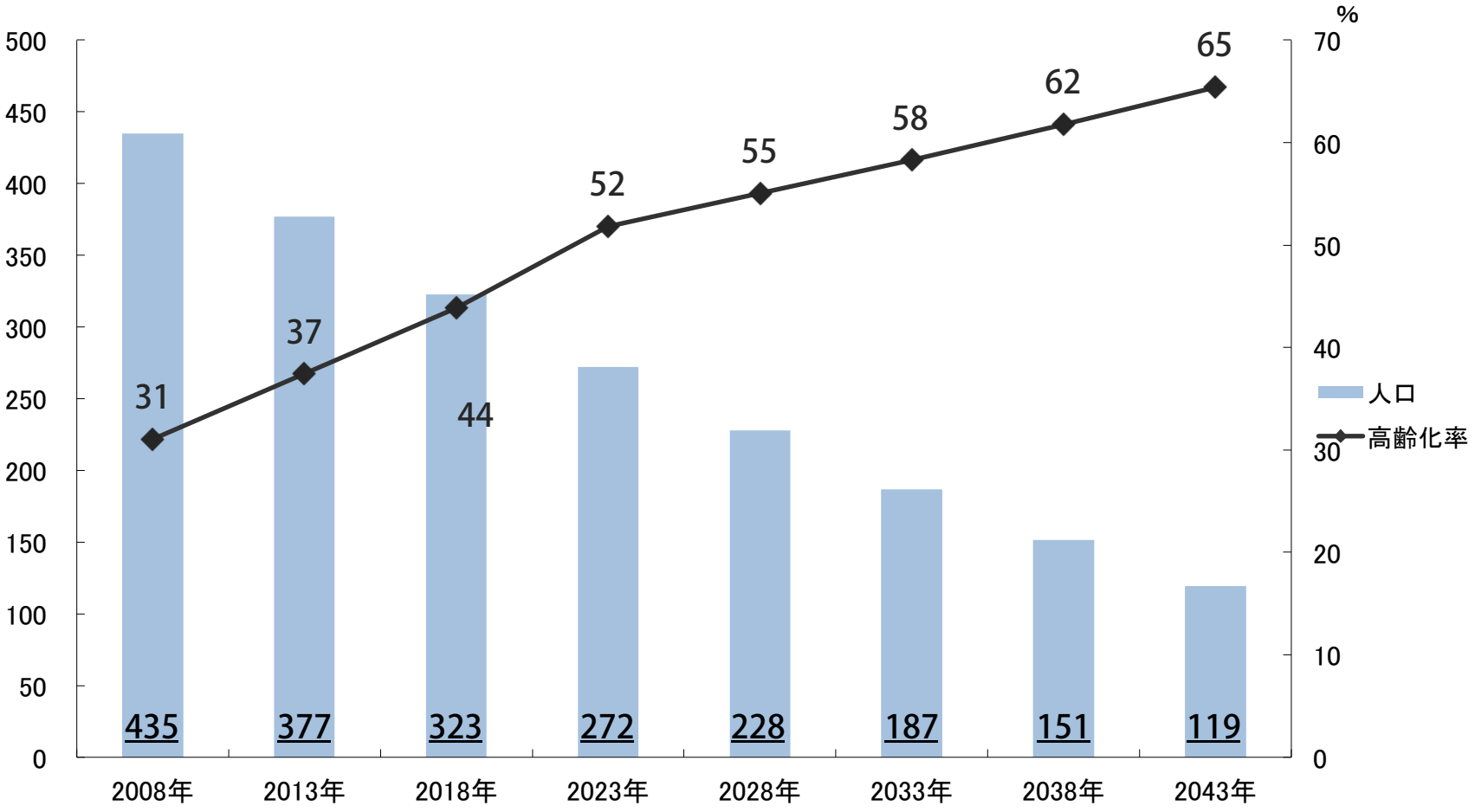
公共を支える
ボランティア活動
等による町民の
負担増



若手のまちづくり担い手による大洲町総合振興計画策定

大洲町

大洲町人口予測2013年



（瑞浪市　住民基本台帳データ「町別人口ピラミッド」より推測）

今回のプロジェクトの概要

大滝町



町の向かうべき
方向性を定め
町民理解のもと
町を運営

×

町民の
自治意識の醸成と
新たな担い手の
確保と育成

大洲町の若手主導による
大洲町振興総合計画の策定

今回のプロジェクトの概要

次世代を担う若者が中心となり総合計画を策定し、策定プロセスを多くの人と共有することで、住民の地域参画や地域自治意識の醸成を目指す。景観政策を取りまとめる節目の年に、生産基盤・生活基盤、福祉環境・子育て環境等も含めた、総合的な町の振興計画を取りまとめる。

大洲町総合計画振興計画項（案）

第一編　計画の概要
1、計画策定の趣旨
2、計画の構成と計画期間
3、計画の施策体系

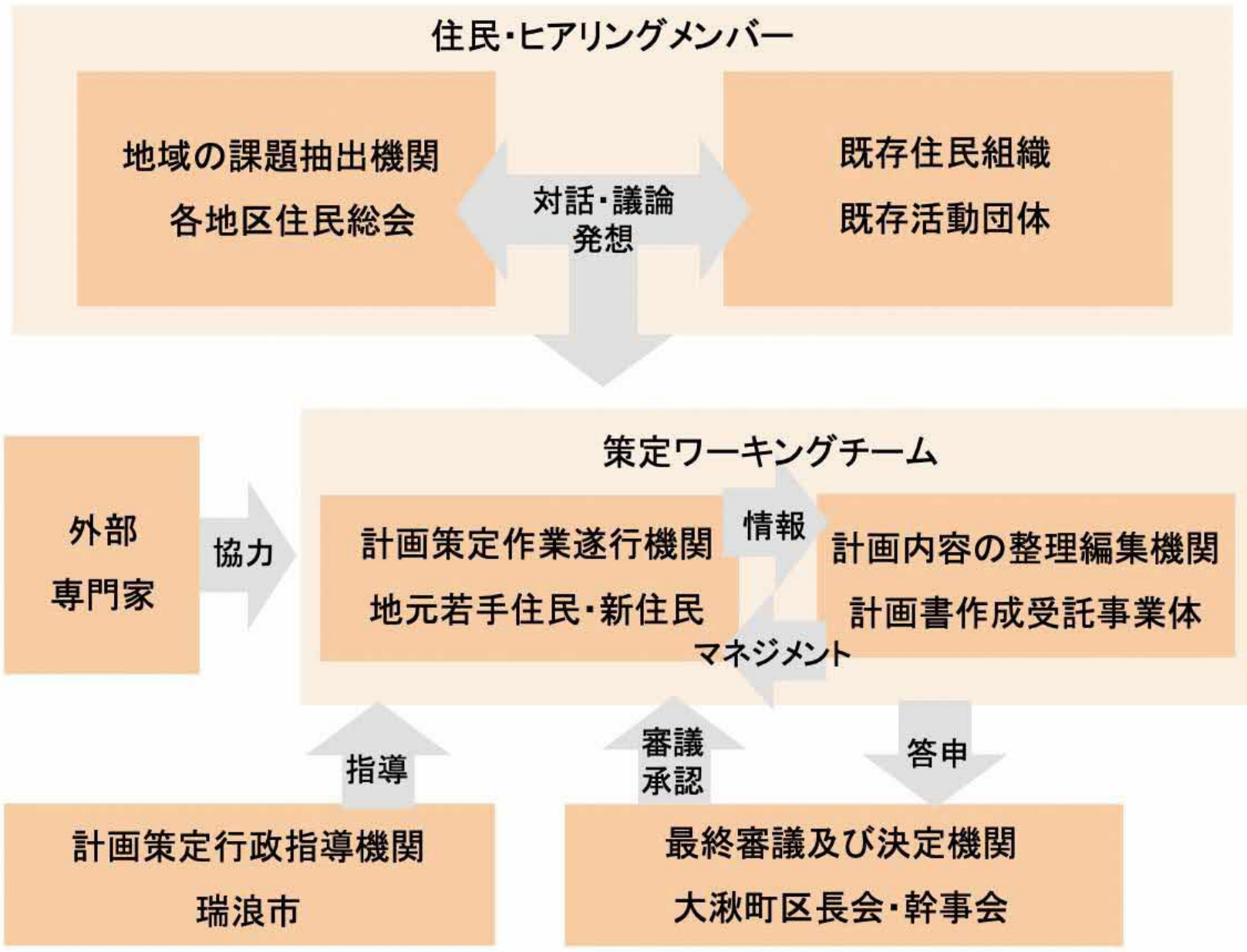
第二編　分野別計画
1、健康福祉
2、環境防災
3、生活基盤
4、産業経済
5、教育文化
6、自治組織

第三編
1、目標指針
2、各種計画図
3、関連資料



（参考イメージ）

今回のプロジェクトの運営体制



今回のプロジェクトの運営体制

地元の担い手青年チームづくり・地元の若者や移住者ら、10名程度のチームをつくり、
総合計画策定に向けて若手会議を行う。



大洲町に二年前から移住　玉川幸枝

岐阜県瑞浪市出身。合同会社プロトビ代表。オーダーメイドタイル事業「TILEmade」をプロデュース。現在、瑞浪駅前の活性化事業やまちづくり活動も行う。2011年から東京のベンチャー企業等で修行。フリーランスとして、東京都港区区議会議員秘書、プロジェクトマネージメント、イベントの企画・運営、プロモーションなどに携わる。



大洲町に昨年から移住　庭師、美術家　田村 啓

瑞浪市出身。信州大学、愛知県立芸術大学大学院で芸術を学ぶ。卒業後、作家活動をしながら造園会社に努め、庭や暮しの提案施工を行う。今年の9月より愛知県より瑞浪市の大洲町の古民家に移住し「にわと、暮らし くさまくら」の屋号で独立予定。人や自然の相依的な関係を表現する庭や作品を目指している。



大洲町に七年前に移住　オオクテツクルテ　副代表　秋山 仁恵

大洲町に移住。自身も看護師との二足のわらじで作家活動を行う傍ら、大洲町を舞台にものづくりをする作家や飲食関係者などを集めて「オオクテツクルテ」イベントを開催し、大洲町やこの地域の作家の魅力を発信する。



専門家・策定プロセスサポート　（一社）サステナ　代表　園原まゆみ

1986年岐阜県中津川市生まれ。まちづくりNPO職員を経て、2018年に独立。NPOでは地域資源を生かした商品・体験の企画プロデュース、地域情報を発信するウェブメディア編集長、移住支援を担当。現在は、岐阜県への移住促進事業、農林業のブランディング支援、空き店舗利活用等の他、まちづくりに関するワークショップのファシリテーション等を行う。

若手のまちづくり担い手による大洲町総合振興計画策定

担い手青年チーム主導で町民全体を巻き込んだ大洲町総合振興計画の策定を行う。地元青年や若手移住者らにより、町民ヒアリングや意見交換会を行い、町の具体的な施策と事業の体系を示す基本計画や、事業の実施スケジュールを示す実施計画を作成する。

＜施策①＞過去の行政計画等関連資料、現行計画（大洲町）の収集と把握（図面含む）

市の総合戦略、大洲町の現行個別計画等との整合を図るために、策定済みの個別計画や今後策定・改定を予定している個別計画について現状把握と整理を行い、残された課題と新たな課題を分析する。

＜施策②＞計画策定指導機関との意見交換会及び資料の精査

施策①の情報をもとに資料を作成し、指導機関との意見交換を行う。会議での説明、助言、意見は議事録として取りまとめる。【年2回程度実施予定】

＜施策③＞策定ワーキングチームの人材選定

策定ワーキングチームは、今後の大洲町を担う30代～40代の地域住民、移住者、外部専門家の10名程度にて編成する。人材選定は、該当の若者たちへヒアリングを実施して選出する。ヒアリングの内容は1名ずつ書類にとりまとめ、最終審議及び決定機（大洲町区長会・幹事会）へ共有する。

若手のまちづくり担い手による大洲町総合振興計画策定

担い手青年チーム主導で町民全体を巻き込んだ大洲町総合振興計画の策定を行う。地元青年や若手移住者らにより、町民ヒアリングや意見交換会を行い、町の具体的な施策と事業の体系を示す基本計画や、事業の実施スケジュールを示す実施計画を作成する。

＜施策④＞「町民ミライ会議（地域の課題及び構想の抽出ワークショップ）」の実施【年2回実施予定】

今後の大洲町の未来像を共有し、町や個人が抱える課題を抽出（住民参画の促進）する機会として、外部講師を招いた基調講話とワークショップ「町民ミライ会議」を実施する。講演会及びワークショップの周知は、紙媒体を用いた各戸回覧と呼びかけにて実施する。ワークショップで得られた課題は書類に取りまとめ、最終審議及び決定機関（大洲町区長会・幹事会）及び計画策定作業遂行機関（策定ワーキングチーム）と共有する。

【町民ミライ会議（案）】（第１回目）
開催日程：2020年6月中旬　目標人数：各回30名程度
内　　容：
外部講師をお呼びし、今後の地域づくりを検討するにあたり基調講演
外部講師想定：名古屋大学　大学院環境学研究科地球環境科学専攻・准教授
高野 雅夫氏
（研究テーマ：自立した持続可能な中山間地域のデザイン）
施策①にて収集した大洲町の現状情報の提示・課題抽出ワークショップ開催

若手のまちづくり担い手による大洲町総合振興計画策定

担い手青年チーム主導で町民全体を巻き込んだ大洲町総合振興計画の策定を行う。地元青年や若手移住者らにより、町民ヒアリングや意見交換会を行い、町の具体的な施策と事業の体系を示す基本計画や、事業の実施スケジュールを示す実施計画を作成する。

＜施策⑤＞各地区（神田・足又・北・西）住民総会での説明・ヒアリング

住民とのまちづくり意識の共有を図るため、（３）で選定されたチームメンバーが中心となり、各地区住民総会で実施事業の説明と住民ニーズの把握を行う。住民総会で得られた意見は書類にとりまとめ、最終審議及び決定機関（大洲町区長会・幹事会）及び計画策定作業遂行機関（策定ワーキングチーム）と共有する。

＜施策⑥＞ワーキングチームによる総合振興計画原案の作成【計5回のワーキングチームディスカッション実施予定】

施策①施策②施策③施策⑤により明らかになった課題をもとに、策定ワーキングチームが中心となり総合振興計画原案を策定する。大洲町区長会・幹事会の助言を得ながら進める。住民総会に向けた会議と資料作成を行う。

＜施策⑦＞町内事業所ヒアリング調査

町内の重要な雇用の場となる事業所に対し、総合振興計画原案の説明と意見交換を行う。
想定事業者数：5事業者
得られた意見は書類にとりまとめる。

若手のまちづくり担い手による大洲町総合振興計画策定

担い手青年チーム主導で町民全体を巻き込んだ大洲町総合振興計画の策定を行う。地元青年や若手移住者らにより、町民ヒアリングや意見交換会を行い、町の具体的な施策と事業の体系を示す基本計画や、事業の実施スケジュールを示す実施計画を作成する。

＜施策⑧＞各地区住民総会で経過共有・説明

住民との共有を図るため、策定ワーキングチームメンバーが中心となり、各地区住民総会にて総合振興計画原案の説明と意見交換を行う。得られた意見は書類にとりまとめる。

＜施策⑨＞総合振興計画の策定

1. 最終審議機関と策定ワーキングチームとの合同審議会

事業所ヒアリングと各地区住民総会での意見を共有するとともに、総合振興計画原案の説明と意見交換を行う。

2. 総合振興計画原案の修正

合同審議会での意見をもとに、策定ワーキングチームが中心となり総合計画原案の修正を行う。
（計3回のワーキングチームディスカッション実施予定）

3. 最終決定機関による議決を経て、総合振興計画を決定する。

＜施策⑩＞総合振興計画書の作成／印刷製本

決定した大洲町総合振興計画は、幅広い世代の住民にわかりやすい計画書となる紙媒体（A4フルカラー30項程度）にまとめ、最低350部印刷する。

若手のまちづくり担い手による大洲町総合振興計画策定

担い手青年チーム主導で町民全体を巻き込んだ大洲町総合振興計画の策定を行う。地元青年や若手移住者らにより、町民ヒアリングや意見交換会を行い、町の具体的な施策と事業の体系を示す基本計画や、事業の実施スケジュールを示す実施計画を作成する。

＜施策⑪＞配布PR

作成した大洲町総合振興計画は、住民（全戸配布）と関係機関に配布し周知する。
また翌年度からの実施に向けた会合を開催する。

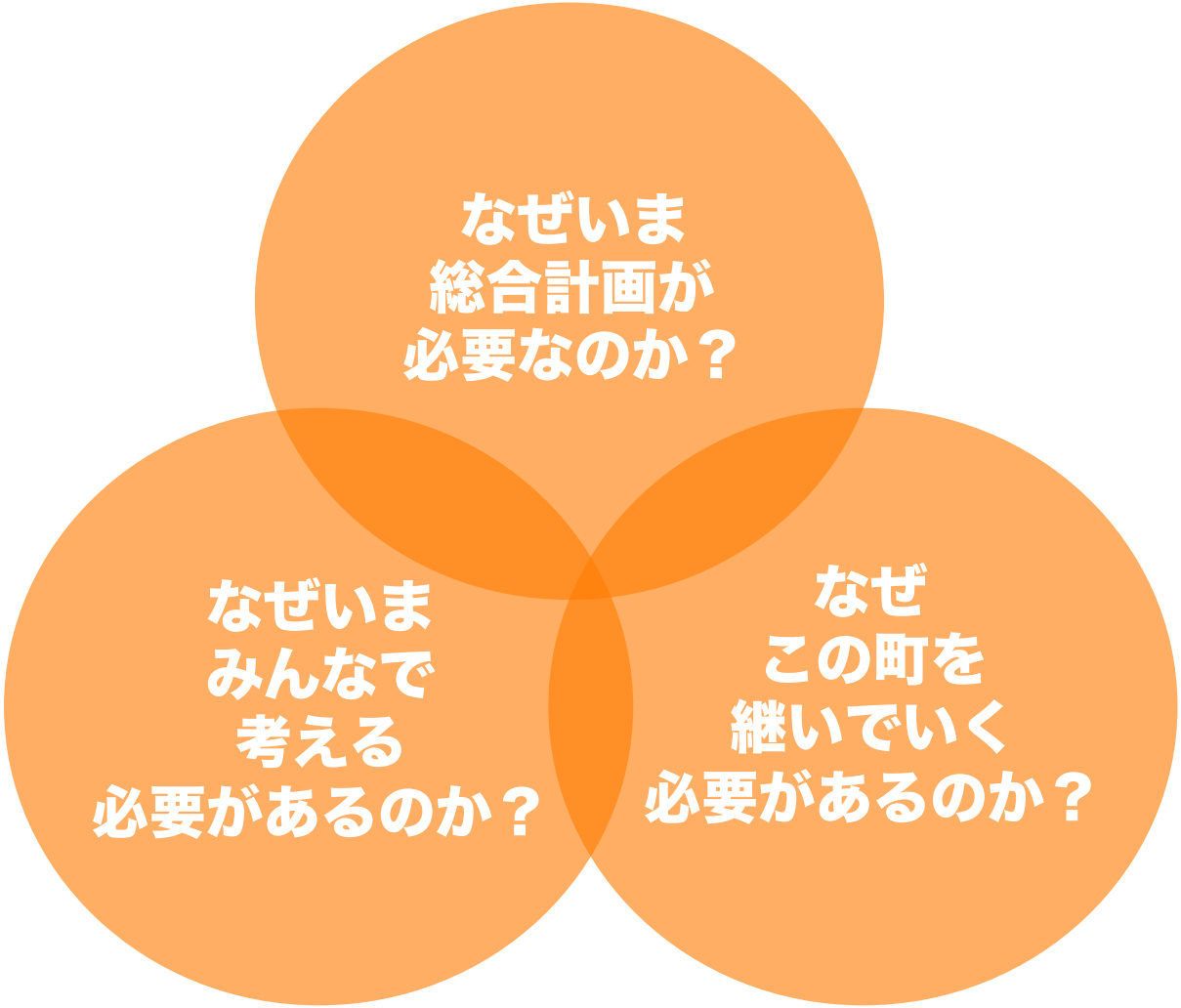
＜施策⑫＞「第２回町民ミライ会議」の開催

１年間の取り組みや、策定した総合計画、次年度からの実施目標を、策定ワーキングチームメンバーが中心となり地域住民に発表し、若者や地域住民が広く意見交換や交流できる機会とする。会議の周知は、紙媒体を用いた回覧と呼びかけにて行う。

＜施策⑬＞SNSによる記録と発信

facebookページを作成し、毎月の取り組み等を町民や市民に向けて広く発信する。

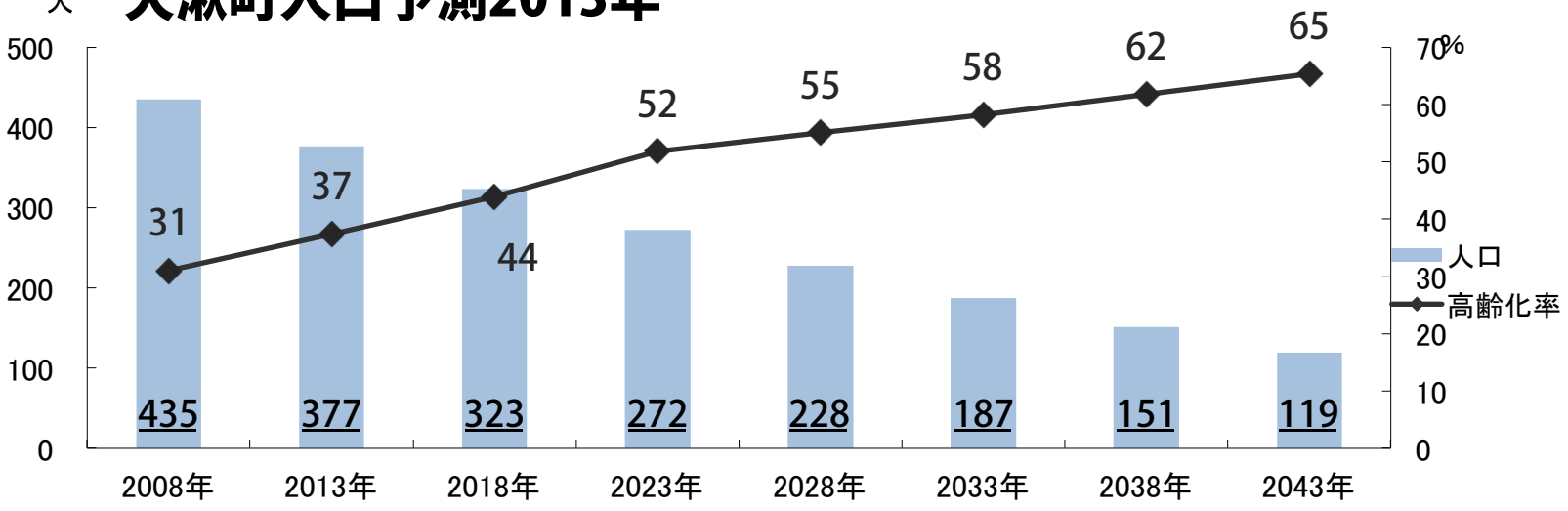
若手のまちづくり担い手による大洲町総合振興計画策定



若手のまちづくり担い手による大洲町総合振興計画策定

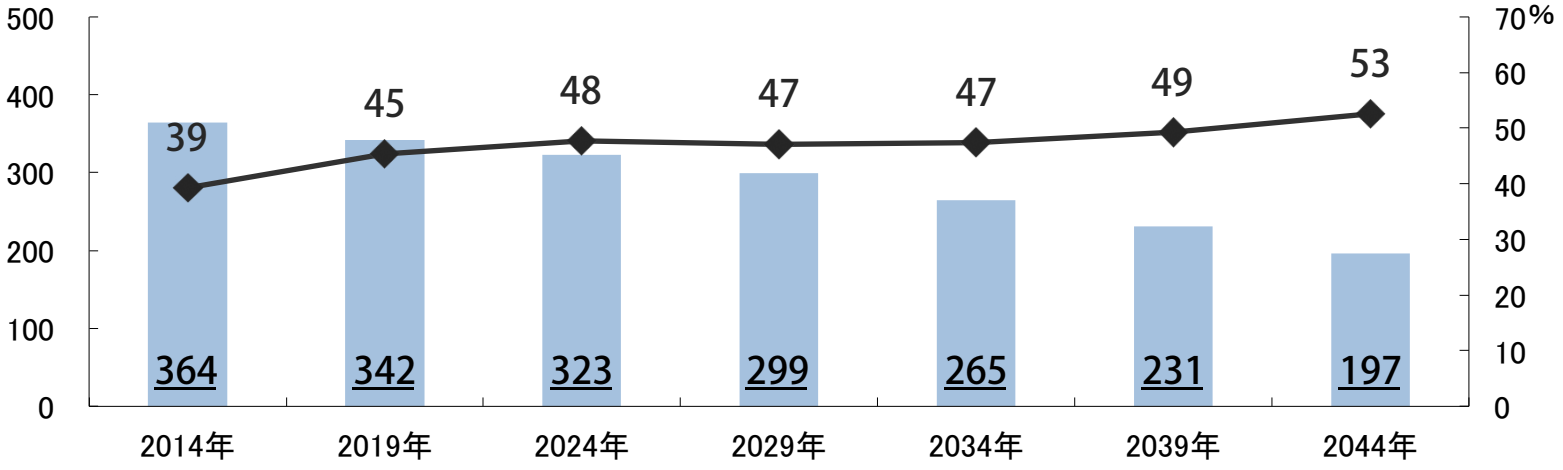
大洲町

大洲町人口予測2013年



（瑞浪市　住民基本台帳データ「町別人口ピラミッド」より推測）

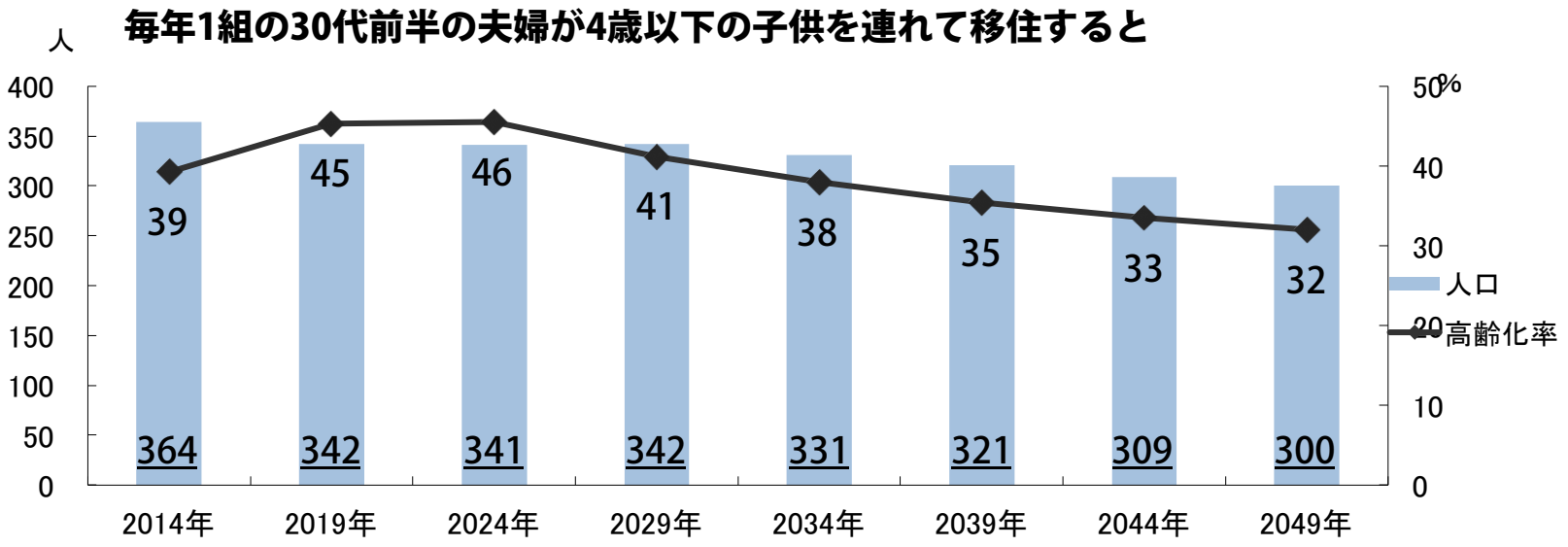
大洲町人口予測2019年

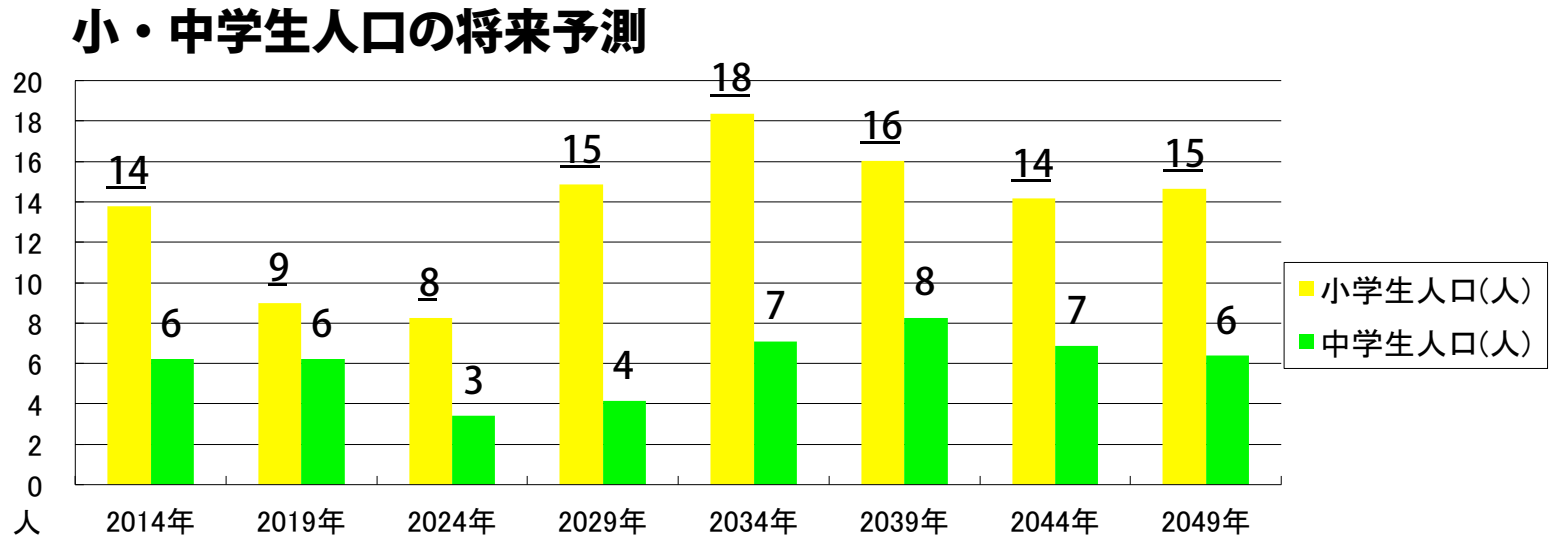


（瑞浪市　住民基本台帳データ「町別人口ピラミッド」より推測）

若手のまちづくり担い手による大洲町総合振興計画策定

大洲町





（瑞浪市　住民基本台帳データ「町別人口ピラミッド」より推測）

おわりに





